

■■受験対策ミニ講座 2号■■

夏が終わらないうちに台風や低気圧の影響で、不安定な天候が続きました。皆様、いかがお過ごしですか？被害に遭われた方には心からお見舞い申し上げます。

試験準備はまだまだ、これから。出遅れたあなたも、ここからスタートしましょう。

前回の「小テスト」は、「社会福祉士の倫理綱領」に関するものでした。今回は過去問から「社会福祉士の行動規範」に関する問題です。「倫理綱領と行動規範」はセットになっており、「行動規範」は「倫理綱領」に基づいて社会福祉士の行動の規範を具体的に示したものです。

第2問〈相談援助の基盤と専門職〉—————

〔28回 91〕日本社会福祉士会が定める「社会福祉士の行動規範」における専門職としての倫理責任に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選べ。

- 1 専門職集団としてではなく、個人として責任ある行動をとらなければならない。
- 2 他の社会福祉士が非倫理的な行動をとった場合、関係機関などに対し、適切な行動をとるように働きかけなければならない。
- 3 研修や自主勉強会等の機会を活かして、常に自己研鑽に努めなければならない。
- 4 社会的信用を高めることよりも、専門職集団の利益を優先しなければならない。
- 5 調査研究の結果を公表する場合、調査者の利益を優先しなければならない。

■Plus Column・・・・・・・・

【いくつ選ぶ？】

「正しいもの」を2つ選びましたか？設問の多くは「正しいもの or 適切なものを1つ選べ」ですが、「2つ選べ」というパターンが1~2割はあると思ってください。設問を読みながら、「いくつ選ぶのか」の部分にアンダーラインを入れる習慣をつけましょう。

大抵の問題は消去法で進めていくと、最後に2つ残り「はてさて、どっちかな？？」と考えることとなります。「2つ選べ」の場合は迷う必要がありません。1問にかけられる時間は1分30秒程度です。設問をしっかり読むことは時間短縮につながります。

〔28回 91〕の正解と解説—————

「社会福祉士の行動規範」に関して正しいのは、2と3です。「社会福祉士の倫理基準と行動規範」は、社会福祉士が倫理的ジレンマに陥った時に立ち戻るべき“道しるべ”です。

- 1 ×専門職集団としてではなく、個人として責任ある行動をとらなければならない。
「専門職集団としても責任ある行動をとらなければならない」とされています。
- 2 ○他の社会福祉士が非倫理的な行動をとった場合、関係機関などに対し、適切な行動をとるように働きかけなければならない。
- 3 ○研修や自主勉強会等の機会を活かして、常に自己研鑽に努めなければならない。
- 4 ×社会的信用を高めることよりも、専門職集団の利益を優先しなければならない。
「社会的信用の保持」が規定されています。
- 5 ×調査研究の結果を公表する場合、調査者の利益を優先しなければならない。
「利用者等の不利益にならないよう、最大限の配慮をしなければならない」とされています。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19KDX 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus